



令和元年度
第13号
令和元年7月17日（水）
日之影町立宮水小学校

アイガモ～まだまだ続きます～

<アイガモ小屋の設置>

7月9日（火）の参観日に環境整備部の皆さんと田んぼの小屋と囲み網の設置をしました。昨年は出張で、その場に居ませんでした。今年は戦力にはなりませんが、その場に居て様子を見ていました。皆さんで相談しながら手際よく作業を進めて、無事に完成しました。事前に畦きりをしたり、事後に周辺の草刈りをしたりと一所懸命に作業に取り組んでいただきました。本当にありがとうございました。環境整備部の皆様には感謝感謝です。



アイガモ小屋の設置

<放鳥>

翌日の7月10日（水）に5年生が田んぼにアイガモを放鳥しました。少し水が少なくてすいすいと泳ぐ状態ではありませんでしたが、元気に歩いて活動していました。昨年はなかなか小屋に入らなかったのですが、今年は昨年の反省を踏まえ、朝の内に小屋にいれ、自分たちのすみかだと認識させたので、夕方、スムーズに小屋に戻ることができました。



放鳥したアイガモ

<まだまだ続く5年生のお世話>

放鳥して、5年生のお世話がなくなると思いきや、更に続けて世話をしなくてはなりません。毎朝、アイガモを小屋から出して、夕方には小屋に入れなくてはなりません。それだけでなく、小屋の掃除やえさやりなど、これまで同様に当番を決めてやっています。15日（月）の「海の日」も坂本紗埜さんと工藤蓮大君の親子や光瑠さんがお世話をしていました。アイガモがおなかをすかしているということで田んぼのオタマジャクシを捕まえアイガモに与えていました。5年生の保護者の皆様、本当にありがとうございます。これまでの取組がしっかり受け継がれていて素晴らしいです。

<自画像>

9人目の自画像は、工藤 吏功君でした。では10人目はだれでしょう。あと2人になりましたので、ノーヒントです。青雲の文字がローマ字でこれまでとは違って発想が面白いですね。自画像が似ていますので、きっと、すぐ分かると思います。